

# ボーイスカウト・バッジシステム・ワークショップ (BBW)

## 1. 目的

新しいボーイ部門の進歩課程を生かしたプログラム展開方法を修得し、班を活発化させることの重要性を理解するとともに、進歩制度の正しい運用を再認識し、隊活動を活性化させることを目的とする。

## 2. 目標

- 1) 新しい進歩課程改定のねらいと特長、組立を理解する。
- 2) 指導者として個人の進歩計画策定の指導・助言ができる。
- 3) 指導者として班長会議での年間プログラム立案時に、新しい進歩課程を活用した明確なアドバイスができる。
- 4) 指導者として、ボーイスカウト部門のプログラムプロセスを理解し、実際に運用できる。

## 3. 実施日と場所

平成 15 年 7 月 6 日 (日) 近畿大学講堂、教室

## 4. 主催

ボーイスカウト大阪連盟  
(担当)

コミッショナー (BS 進歩課程移行推進チーム)、トレーニングチーム (BS タスクチーム)、スカウト委員会

## 5. 参加対象者

ボーイスカウト部門の隊指導者 (隊長・副長・副長補)、団委員長 合計 200 名

## 6. 実施内容

ワークショップ形式とする。各ワークショップでは実際に参加者がファシリテーター (進行役・引き出し役) の支援を受けながら作業を行ない、成果を評価し、水平展開する。

参加者はあらかじめ申込み時点で希望するワークショップを 2 つ記入する。

ワークショップは最高 10 人単位とし、各グループにファシリテーターを置く。

### ① フレッシュコース：進歩課程の理解 (講義+ワークショップ)

新しい進歩課程のねらいと特長、組立について講義と課題の作業により理解する。

### ② ヤングコース：個人の進歩計画作成

3 年間で菊スカウトにまで上進する進歩計画をスカウトハンドブックを見ながら作成する。使用する年間プログラムは提示するもの、または自隊のものを使う。

③ ミドルコース：年間プログラムの作成

班会議⇒班長会議⇒リーダー会議 の実際の流れに沿って年間プログラムを作成する。参加者はスカウトのニーズをあらかじめ集約しておき、あくまでスカウトの立場にたって会議を展開する。スカウトが取りたいターゲットバッジと指導者が取らせたいターゲットバッジを明確にする。

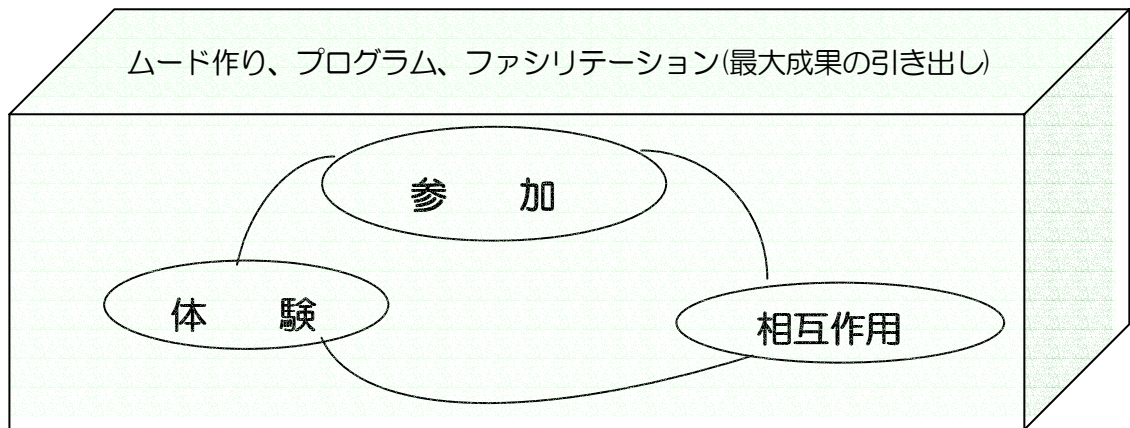
④ ターゲットコース：月間プログラムの作成（１）

年間プログラムを基に、班会議⇒班長会議⇒リーダー会議⇒班長訓練計画⇒班集会計画⇒隊集会計画 の流れのうち班長訓練計画までを参加者各自が計画し、成果を評価し、水平展開を図る。参加者は班長の役割として事前に各班のニーズを持ち寄り班長会議を行なう。

⑤ マスターコース：月間プログラムの作成（２）

④の展開のうち、班長訓練を受けての班集会と隊集会の計画を実際に参加者が行なう。同時に個人の進歩計画の見直しも行なう。

ワークショップの特徴



7. スケジュール

9:00	受付	
9:30	開会儀礼	
10:00	導入	全体
10:30	ワークショップⅠ	
	① フレッシュコース	80名
	② ヤングコース	10名×8
	③ ミドルコース	10名×4
12:30	昼休憩	
13:30	ワークショップⅡ	
	② ヤングコース	10名×8
	③ ミドルコース	10名×8
	④ ターゲットコース	10名×2
	⑤ マスターコース	10名×2
15:30	ふりかえりとまとめ	全体
16:00	閉会儀礼	
16:20	解散	(各コースの人数は申し込み状況によって変更します。)

8. 申し込みコース

	午前	午後
Aコース	フレッシュ	ヤング
Bコース	ヤング	ミドル
Cコース	ミドル	ターゲット
Dコース	ミドル	マスター